木簡研究　第11号　1989年11月刊

巻頭言　狩野　久
1988年出土の木簡
1977年以前出土の木簡（11）
中国出土簡牘的保護研究　胡　継高
中国出土木・竹簡の保存科学的研究（抄訳）　（訳）佐川正敏
木箱と木簡　小池伸彦
所謂『長屋王家木簡』の再検討　大山誠一
有韻尾字による固有名詞の表記　犬飼　隆

木簡研究　第12号　1990年11月刊

巻頭言　田中　琢
1989年出土の木簡
1977年以前出土の木簡（12）
森ノ内遺跡出土の木簡をめぐって　山尾幸久
木簡類による和名抄地名 ―日本語学のたちばから―　工藤力男
内資人考　春名宏昭

木簡研究　第13号　1991年11月刊

巻頭言　笹山晴生
1990年出土の木簡
1977年以前出土の木簡（13）
下曽我遺跡と出土木簡　鈴木靖民
香川県長福寺出土の木簡 ―備蓄銭に伴って出土した木簡―　舘野和己
「二条大路木簡」と古代の食料品貢進制度　樋口知志
中国簡牘学国際学術検討会参加記　佐藤　信

木簡研究　第14号　1992年11月刊

巻頭言　八木　充
1991年出土の木簡
1977年以前出土の木簡（14）
考古資料としての古代木簡　山中　章
八幡林遺跡等新潟県内出土の木簡　小林昌二
木上と片岡　岩本次郎
下級国司の任用と交通 ―二条大路木簡を手がかりに―　鈴木景二
「敦煌漢簡」研究の現状と課題　吉村昌之

木簡研究　第15号　1993年11月刊

巻頭言　早川庄八
1992年出土の木簡
1977年以前出土の木簡（15）
国・郡の行政と木簡 ―「国府跡」出土木簡の検討を中心として―　加藤友康
京都府相良郡木津町鹿背山郷の俵上札　田中順一郎

（バックナンバーの頒布については、本誌137ページ参照）